

2021年3月25日

各位

サウジアラムコとのCO₂フリー水素・アンモニアのサプライチェーン構築に向けた協業検討に関する覚書締結について

当社（社長：大田 勝幸）は、サウジアラビア王国の国営石油会社 Saudi Arabian Oil Company.（以下、「サウジアラムコ」）との間で、先般CO₂フリー水素・アンモニアのサプライチェーン構築に向けた協業検討に関する覚書を締結し、フィージビリティスタディ（以下、「FS」）を開始しますので、お知らせいたします。

今回の検討では、サウジアラムコが生産・供給する天然ガス・LPGなどの化石資源に由来する水素製造事業や、製造時に発生するCO₂を回収・貯留する事業、および日本をはじめとするサウジアラビア国外の需要地へ海上輸送するため、アンモニアやMCH※（メチルシクロヘキサン）を含む、様々な水素の輸送形態を対象にFSを実施します。

日本は年間原油消費量の3分の1以上をサウジアラビアから輸入しており、同国のサウジアラムコはCO₂フリー水素・アンモニアの長期的な安定供給ポテンシャルを持つことから、本覚書を締結しました。当社は、このFSの成果に基づき、日本への製品輸入を含め、製油所において発電所などの近隣企業への水素供給事業を展開し、将来の水素の社会実装に取り組みます。

当社は、CO₂フリー水素・アンモニアサプライチェーンを早期に拡大することで、低炭素社会の構築に貢献してまいります。

※水素ガスの500分の1の容積で常温常圧の液体。貯蔵や輸送など取り扱いが容易なことが特徴。

<サウジアラムコの概要>

| | |
|------|---|
| 正式名称 | Saudi Arabian Oil Company |
| 設立 | 1933年 |
| 代表者 | Amin H. Al-Nasser, President & CEO |
| 所在地 | サウジアラビア、ダーラン |
| 事業内容 | 石油・天然ガスの探査、開発、生産、精製、輸送 原油・石油製品・ガス・化学品等の販売、取引 |

以上

とどけ! 熱いエネルギー ENEOS